

# 公共事業の三方良し

## 中国地方整備局

### 1. 『三方良し』とは

近江商人の家訓である、

「**売り手良し、買い手良し、世間良し**」が語源となっています。

- ・売るだけが目的にならないようにしたい
- ・お客様が喜ぶ顔をたくさん見たい
- ・社会の一歯車であっても、その責任を全うしたい
- ・社会に還元できる適正な利益を得たい

という思想から生まれた言葉であり、**全てのビジネスの基本**となるものです。

## 2. 公共事業の『三方良し』とは

公共事業の三方は

「発注者、受注者、利用者(国民)」

発注者：発注者責任を全うする

受注者：喜ばれる上に利益も上がる

利用者：早く完成し、早く使えて、早く便利になる



みんなが幸福(プラス):三方良し

## 3. 公共事業の受注者・発注者に課せられた使命

良いものを、早く、安全に適切な価格で国民に提供することが、使命だと考えます。

そのためには、受注者・発注者にメリットがあり、お互いが取り組む事ができる共通の目標を持つことが大切だと考えます。

共通目標

速やかに工事を完成させる  
(安全と品質確保が前提)



工期短縮

## 4. 発注者による『工期短縮』の方法

従来は、監督職員が個々において『現場を待たせない』『速やかに回答する』ことを実施していました。しかしながら、予見不可能な問題が発生した時、発注者の意志決定に時間を費やし、実質工期が短くなることがありました。

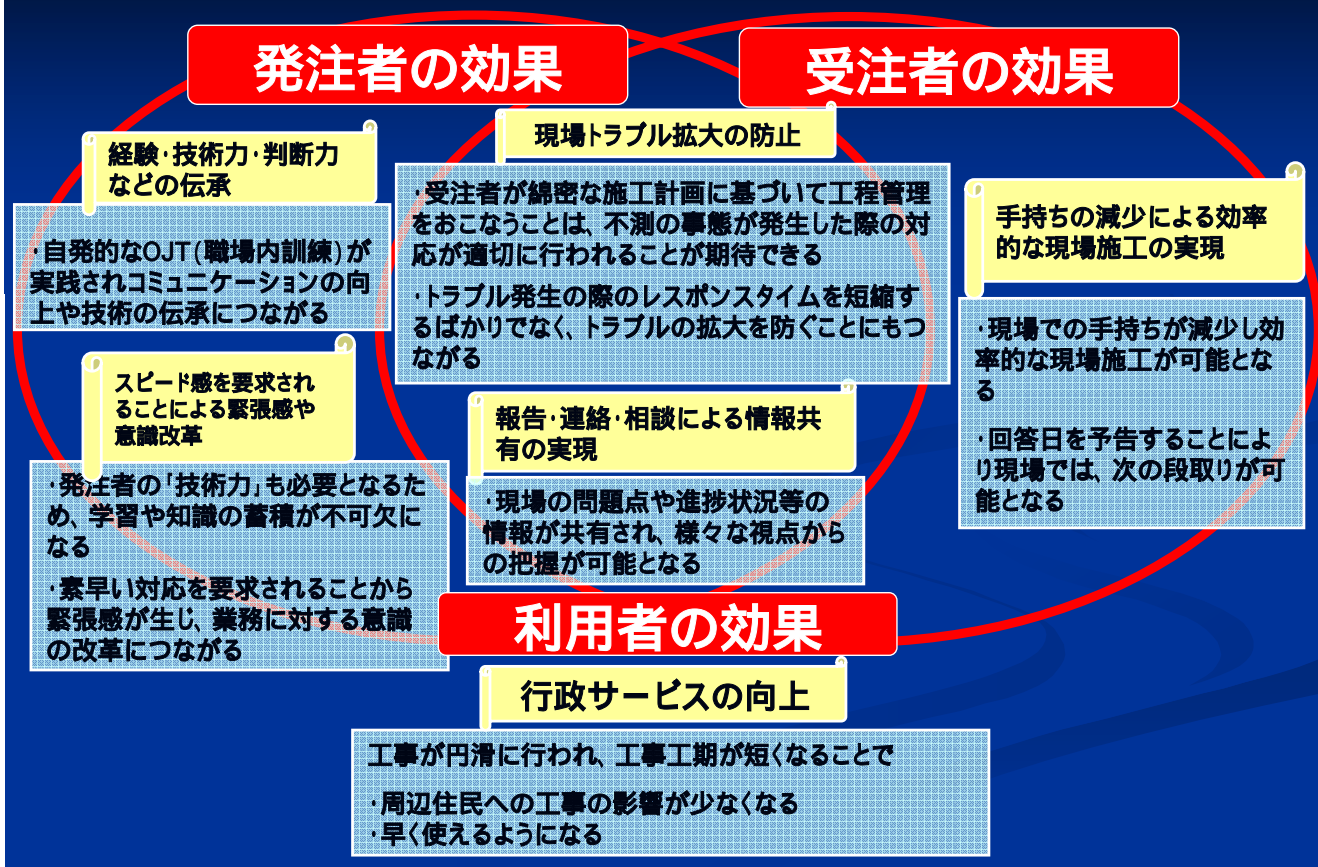
従来の対応を、より組織的に、システム的なものとし工事現場で発生する諸問題を迅速に対応する必要があります。



その解決策のひとつが

**即日回答(ワンデーレスポンス)**

## 5. ワンデーレスポンスにより期待される効果



## 6. 国土交通省の取り組み

平成18年度に北海道開発局にてモデル現場を選定しワンデーレスポンスを試行

『国土交通省直轄事業の建設生産システムにおける発注者に関する懇談会』の中間取りまとめ(H18.9)で取り組みの一項目としてワンデーレスポンスを明記

H19.3に大臣官房技術調査課より地方整備局等にワンデーレスポンスの実施についての通知

## 7. 中国地方整備局の取り組み方針

### ワンデーレスポンスの実施

- ・原則として主任監督員1工事(約100件:重要構造物、現道上での工事を選定)
- ・一部の事務所では全工事実施
- ・『工事監督におけるワンデーレスポンスの手引き』を作成

- ・回答は、『その日のうち(24時間以内)』
- ・即日回答の困難なものは、『回答日』を『その日のうちに』に通知
- ・現地において重大な問題が発生した場合『現地技術検討会(仮称)』の実施
- ・フォローアップの実施